

授業科目名 (英文名)	グローバルエンジニアリング (Global Engineering)	科目区分 対象学生	
単位数	2.0	開講年次・ 学期	2年次・前期
担当教員	大内 幹雄	所属	総合教育機構
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>グローバルに展開する科学技術の発展について、グローバルリーダーとして将来活躍する技術者・工学者に必要な素養、英語理解力を深めることを目的とし、科学技術のグローバル化の現状、それを取り巻く課題について論究する。</p> <p>本講義の到達目標は、工学系の研究者に要求される英語の基礎力を修得することと、英語で科学技術を理解し、応用的思考をもつことができるようになることである。</p>		
講義内容・授業計画	<p>講義内容 本講義はグローバルリーダー教育プログラムに登録されている工学部2年次学生が必修となる科目である。主担当教員は大内幹雄で、工学研究科教員朝熊裕介が副担当教員である。本講義の前半では、工学系の学生に要求される科学英語の紹介、プレゼンテーション（英語と日本語）の具体的事例を紹介し、後半では授業で紹介した科学技術の話をもとに、グループワーク、学生プレゼンテーションを課題とする。企業訪問を通して、地域から世界に進出するグローバル企業の現状を学ぶ。</p> <p>授業計画（授業の順序は異なることがある。）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 英語で科学（工学）を学ぶ 2 インターネットを活用した科学技術の進歩 3 情報科学の最新の話（IoT, ICT, VR, AR）を英語で学ぶ 4 英語で公表される研究論文の構成 5 演習1（1～4の復習）。研究論文に頻出する英語表現 6 英語と日本語でプレゼンテーションを行う基本手法 7 工学研究科外国人客員研究員によるプレゼンテーションから発表手法を学ぶ 8 工学研究科外国人客員研究員によるプレゼンテーションから質疑応答手法を学ぶ 8 グローバルものづくり、SDGs、AIに関する最新の話をもとに英語で学ぶ 9 環境保全問題に関する最新の話をもとに英語で学ぶ 10 8と9の講義で学んだ内容をもとにした学生のプレゼンテーション1 11 8と9の講義で学んだ内容をもとにした学生のプレゼンテーション2 12 グループワークとして兵庫のグローバル企業について現状を調べた成果を発表 13 企業訪問（伊東電機株式会社本社訪問、兵庫県加西市） 14 企業訪問の成果発表とディスカッション 15 まとめと評価（到達度の確認） <p>定期試験</p>		
テキスト	指定しない。講義内容に関する資料を配布する。		
参考文献	授業中に随時紹介する。		
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準 本講義の内容を理解し、積極的に課題作成に取り組んだ者に単位を授与する。 講義目的・到達目標に記載する能力（知識、思考力、表現力等）の到達度に応じてSからCまでの成績を与える。</p> <p>成績評価の方法 演習1（20%）、プレゼンテーション（20%）、グループワーク発表（10%）、企業訪問レポート（10%）、定期試験（40%）を基準として、受講態度（積極的な質問等）を含めて総合的に評価する。</p>		
履修上の注意・履修要件	平成30年度入学学生のみが受講可能で、30名程度の履修定員制限を行う予定。グローバルリーダー教育プログラムの学生を優先する。TOEICを受験している学生を優先する。履修学生には事前にガイダンスを行う。企業訪問の日程については受講学生が決ま		

	り次第、相談して決める。
実践的教育	
備考	